

歴史科学的に 山梨をひも解く

山梨県内には自然及び人文分野のいずれにおいても、第一級品が豊富に存在し、観光資源としても寄与しています。これらのユニークな価値や成り立ちなどの話題を学術的に掘り下げ、山梨についてより深く知っていただけるように、山梨県立大学の観光講座では、専門家による講演を実施してきました。本年度は、「歴史科学的に山梨をひも解く」と題するテーマで、多分野からの話題を用意し、最終回には現地視察も企画しました。多くの皆様の参加をお願いいたします。

開催時間 午後1時～午後4時30分

受付は午後12時30分から

開催場所 山梨県立大学飯田キャンパス 講堂
(甲府市飯田5-11-1)

参加
無料



1回目 7月29日(日)

- 縄文時代とは何か～日本列島における山梨の縄文文化～ …… 岡村道雄(元文化庁主任調査官)
- 山梨の古代文化を石から探る …… 保坂康夫(山梨県考古学協会)

2回目 9月2日(日)

- 日本列島形成史から山梨県内の扇状地形を読み解く …… 輿水達司(山梨県立大学)
- ヒトと自然が作り出した山梨県の昆虫相 …… 小粥隆弘(オオムラサキセンター)

3回目 9月30日(日)

- 広重の歩いた身延道～甲府城下から富士川方面へ～ …… 新津 健(山梨県考古学協会)
- 写真で読み解く半世紀前の山梨 …… 中澤京子・小澤千寿子(NPO地域資料デジタル化研究会)

4回目 10月14日(日)

- 柳沢吉保と甲府城～城内に新設された能舞台の姿とは～ …… 西海真紀(甲府城研究会)
- 富士山の環境とその変化 …… 仁田晃司(環境省富士五湖自然保護官)

5回目 10月28日(日) **★: バスをチャーターして現地視察**

甲府市内を出発し、北杜市にてパノラマ景観の中で、南アルプスや八ヶ岳などの大地形成史を一千万年スケールで理解をはかり、さらにこの高原地域にかつて繁栄した縄文文化について現地で説明を受ける。その後、昇仙峡地域に場所を移し火砕流や御影石などの活動史を理解しつつ、この地に特有な山岳信仰などの文化変遷に触れる。

参加申込 社会連携課 TEL.055-225-5412 FAX.055-225-1150

E-mail ucrc-accept@yamanashi-ken.ac.jpにてお申し込みください。

参加申込みにつきましては裏面をご覧ください